

～直轄国道の峠部における冬タイヤ装着率を調査しました。(第4回、最終)～

《11月は冬タイヤ装着月間です》

せんがん 仙岩峠 (R46)、おがち 雄勝峠 (R13)、やたて 矢立峠 (R7) の冬タイヤ装着率

【調査日：平成23年11月28日】

秋田県内では11月に入ると降雪や夜間の気温低下により路面状況が刻々と変化します。初冬期においては、夏タイヤ使用によるスリップ事故や、スリップした車両が道路をふさぐために起こる渋滞や立ち往生などの危険性が高くなる時期です。

その対策として、平成16年度から道路管理者である国土交通省並びに秋田県建設交通部が中心となり、秋田県内のドライバーに対して、初冬期の11月を「冬タイヤ装着月間」として冬タイヤ装着運動を行っております。また、運動と並行して、冬期の隘路となりやすい「峠部」で月間内の「冬タイヤ装着率」*1を調査し、結果を広くお知らせすることで冬タイヤ装着への注意喚起を促すこととしています。

この度、秋田県内の直轄国道で、峠部における冬タイヤ装着率を調査しましたのでお知らせします。

※1. 本調査の「冬タイヤ装着」とは、全車輪に滑り止めの性能を有するタイヤ又は鎖を取り付ける等、滑り止めの措置を講じている車両としており、「冬タイヤ装着率」とは、冬タイヤ等を装着している車両を全調査車両で除法算出しています。

■調査日：11月7日（月）、14日（月）、21日（月）、28日（月）

※2. 調査日は天候等の理由により、予告なしに変更することがあります。

■調査地点：

○秋田河川国道事務所管内【R46「仙岩峠」仙北市田沢湖生保内地内（野中交差点）】

○湯沢河川国道事務所管内【R13「雄勝峠」湯沢市横堀字六郎川原地内（新万石橋交差点）】

○能代河川国道事務所管内【R7「矢立峠」大館市白沢地内（白沢交差点）】

※3. 調査地点において上下線の合計で100台程度を調査しています。

■冬タイヤ装着率：

○調査地点平均装着率98.7%（調査台数382台）

・秋田河川国道事務所管内「仙岩峠」100.0%（調査台数115台）

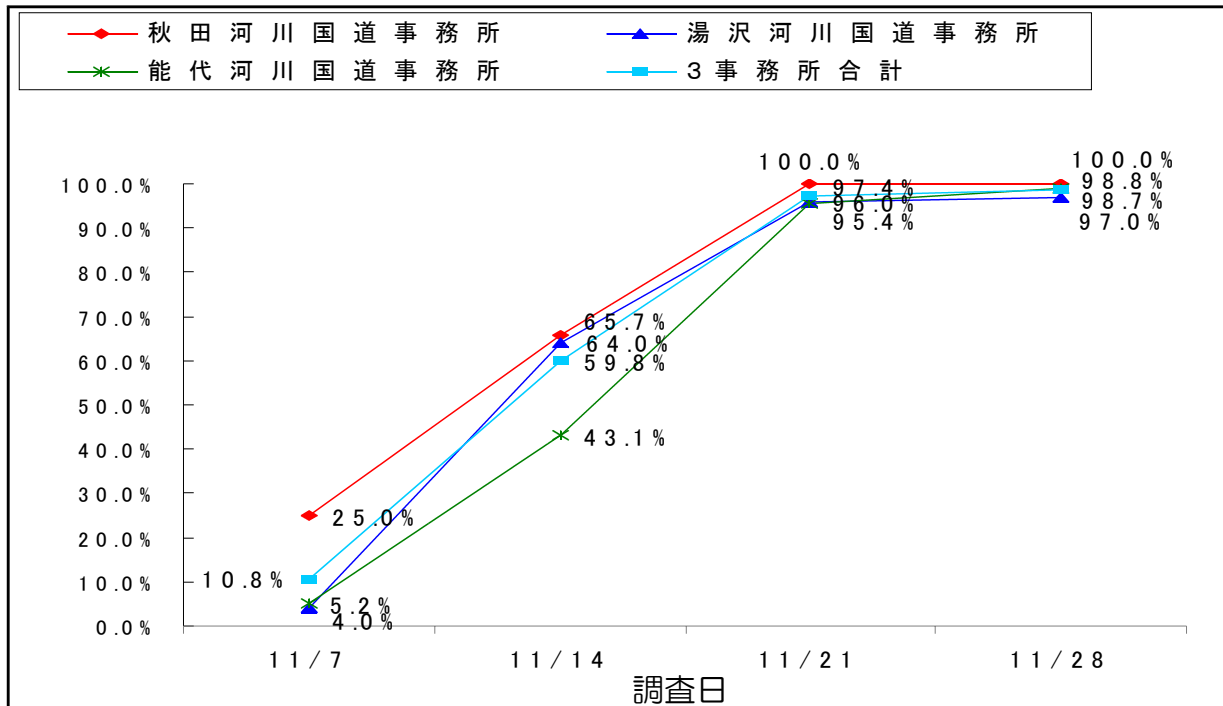
・湯沢河川国道事務所管内「雄勝峠」97.0%（調査台数100台）

・能代河川国道事務所管内「矢立峠」98.8%（調査台数167台）

【発表記者会】

秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社湯沢支局・大曲支局、秋田建設新報社、秋田建設工業新聞社、建設新聞社秋田支局、秋田県南日々新聞、能代市記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ

【問い合わせ先】	
国土交通省 東北地方整備局	
○秋田河川国道事務所 電話 018-823-4167 (代表)	
道路管理第一課長	はだけやま まさひろ 畠山 正文 (内線431)
○湯沢河川国道事務所 電話 0183-73-3174 (代表)	
道路管理課長	さかい ひろし 酒井 宏 (内線431)
○能代河川国道事務所 電話 0185-70-1001 (代表)	
道路管理課長	みうら くにひこ 三浦 邦彦 (内線431)
道路管理課専門官 (集計担当)	ふくし かつひと 福士 勝仁 (内線430)



秋田県内の峠部では98%に達し、前回調査（11月21日実施）と比較して冬用タイヤ装着率が高くなっています。

明日からは12月です。本格的な冬に入りますので、冬タイヤ装着で安全運転をお願いします。また、冬用タイヤを装着していても、車間距離を十分にとってスピードを控えるなど安全運転をお願いします。

本資料は、記者発表「～直轄国道の峠部における冬タイヤ装着率を調査しました。（お知らせ）～（平成23年11月9日付け）」の継続調査です。